



ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展

 鳥の目から世界を見る 

2015年4月29日(水・祝)～8月2日(日) ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

今年度の展覧会第1弾は、「鳥瞰図」がテーマです。

空に飛ぶ鳥になった気持ちで、作家の想像力を体感してみませんか。



## 【ボーダレス・アートミュージアム NO-MA】

滋賀県近江八幡市の歴史ある重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期の町家を改築し2004年6月に開館した、社会福祉法人グローが運営するミュージアムです。

障害のある人の表現活動の紹介にとどまらず、現代アーティストの作品と共に展示し「人の持つ普遍的な表現の力」を感じることが出来る企画展を開催しています。

また、「障害者と健常者」をはじめ様々なボーダー（境界）を超えていく試みを実践し、アール・ブリュットを扱うミュージアムとして国内外から注目されています。

※アール・ブリュット（仏：Art Brut）

「生の芸術」という意味のフランス語。Artは芸術、Brutはワインなどが生（き）のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。

## 【展覧会の見どころ】

- ・「鳥瞰図」の世界をさまざまな形で表現している作家6名による展示。
- ・鳥の目から「描く」「歩く」「飛ぶ」をテーマにした関連イベントを開催。
- ・大正の広重と呼ばれた絵師 吉田初三郎の作品をはじめ、現代アーティスト、アール・ブリュットの作品をボーダレスに展示。
- ・空想の世界で空を飛び、表現した作品を鳥の視点のように鑑賞できる。（一部のみ）

## 【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）  
担当：山田・渡邊・横井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2  
TEL：0748-46-8100 FAX：0748-46-8228 MAIL：kikaku@glow.or.jp

人は「鳥のように空を飛ぶたい」と夢見ています。  
アメリカのライト兄弟をはじめとする様々な人々が「鳥」になることに挑戦しました。  
一方、実際に飛べなくとも空想の力で空を飛ぶ人たちがいます。  
壮大な空想はアートの原点。  
そんな飛行人間達の夢の世界を体感してください。

## 出展作家

香川定之	Kagawa Sadayuki	1944-	広島県在住
白石裕則	Shiraishi Hironori	1973-	広島県在住
戸舎清志	Toya Kiyoshi	1969-	島根県在住
山口 晃	Yamaguchi Akira	1969-	東京都在住
山田美智子	Yamada Michiko	1977-	滋賀県在住
吉田初三郎	Yoshida Hatsusaburo	1884 - 1955	京都府

## 展覧会概要

タイトル ポーダレス・アートミュージアム NO-MA 企画展「鳥の目から世界を見る」  
企画 はた よしこ（ポーダレス・アートミュージアム NO-MA アートディレクター）  
会期 2015年4月29日（水・祝）～8月2日（日）  
会場 ポーダレス・アートミュージアム NO-MA（滋賀県近江八幡市永原町上 16 [旧野間邸]）  
開催時間 11:00～17:00  
休館日 月曜日休館（ただし祝祭日の場合、翌日休館）  
入館料 一般 300円（250円） 高大生 250円（200円）  
中学生以下、障害のある方と付添者 1名は無料  
※（）内は 20名以上の団体料金

主催 ポーダレス・アートミュージアム NO-MA  
社会福祉法人グロー（GLOW）～ 生きることが光になる～  
後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会（予定）  
協力 社会福祉法人くさのみ福祉会くさのみ作業所、MIZUMA ART GALLERY、社会福祉法人三矢会太田川学園高陽寮、社会福祉法人やまなみ工房、有限会社北風寫眞館、近江八幡観光物産協会、NPO 法人しみんふくし滋賀

※2014年4月、滋賀県社会福祉事業団は、オープンスペースれがーとひとつになり、名称が「社会福祉法人グロー」になりました。

## 出展作家紹介

### 香川定之 Kagawa Sadayuki

寝食以外のほとんどの時間を、この図の制作に費やしている。頭の中で完成している図を描き落とすかのように、さらさらとボールペンを走らせる。間取り図で表される建物や、建物の周りを走る線路、そして建物の中に書き込まれる文字は、定規をあてて直線で描き込まれる。全ての建物が繋がっているようであり、入ったら延々と彷徨うことになる迷宮のようでもある。しかし本人にとって、この図は抜けられない迷宮などではなく、どこへでも行ける地図なのだという。

### 白石裕則 Shiraishi Hironori

木の板にアクリル絵の具でイメージを描き出す。自然の風景やファンタジーの世界など、最初に大きなイメージを頭の中に描き、アクリル絵の具を使い独特の画風で表現する。「描いているとイメージがどんどん膨らんでいく」という白石。たくさんの色の中から、選び出される色も白石の感性だ。

### 戸舎清志 Toya Kiyoshi

彼が描く街の俯瞰図には、建築物以外の道路や駐車場をはじめ空き地などのすべての空間が、車でぎっしりと埋め尽くされている。描かれている建築物は、実在するもので、毎日の職場へのバス通勤の風景を厳密に記憶して、それらを組み合わせ描いている。描き始めた中学生の頃は、絵の中に人間の姿もあったのだが、近年はまったく描かなくなり、建物と車のみが過剰にひしめき合う不思議な無人の世界になっている。

### 山口晃 Yamaguchi Akira

時空が混在し、古今東西様々な事象や風俗が、卓越した画力によって描き込まれた都市鳥瞰図・合戦図などが代表作。観客を飽きさせないユーモアとシニカルさを織り交ぜた作風も特徴のひとつ。絵画のみならず立体、漫画、また「山患痴屋澱エンナーレ」と名付けた一人国際展のインスタレーションなど表現方法は多岐にわたる。

### 山田美智子 Yamada Michiko

普段は図案を元にした刺繍や織りを活動の中心に据え、喫茶のスタッフとしても働く。作品はいたってシンプルで、無駄がない。最初に、人物の写真からモチーフを選び、慎重に鉛筆で下書きをする。人物と余白のコントラストは存在感が強く、見る者を立ち止まらせ語りかける。

### 吉田初三郎 Yoshida Hatsusaburo

友禅図案絵師に師事するが、洋画家を志して鹿子木孟郎に入門。後に、師の勧めで商業画家となる。独特の鳥瞰図法による彩色の観光案内絵地図を多数制作。「大正の広重」といわれ、『鉄道旅行案内』など書籍の挿図、絵葉書、ポスター等も多く手掛けた。

## 関連イベント

- (1) 展覧会のテーマから抽出したキーワード「描く」「歩く」「飛ぶ」に関連する3つのイベントを実施します。

### 描く

#### 講演「鳥の目で世界を描く—自身の制作からアール・ブリュットまで」

“現代の絵師”山口晃氏を迎え、前半では自身の制作にまつわるエピソードを、後半では本展アートディレクターとの対談により、本展に出展するアール・ブリュットの作品を回想しながらお話しいただく。

講師：山口晃（美術家）

聞き手：はたよしこ（本展アートディレクター）

日時：2015年5月30日（土）13：30～15：30

会場：まちや倶楽部（近江八幡市仲屋町中 21）

定員：80名（要予約）

参加費：観覧料

### 歩く

#### 講演&上映会「超高速！中山道行脚」

江戸時代、東海道の裏街道として江戸と京を結んだ中山道。氏が3週間かけて歩いた道のりは、135里（約540km）。約100mに1枚撮影した計5365枚の写真スライドによって音速で旅する。

講師：竹岡寛文（デザイナー）

日時：2015年6月13日（土）13：30～15：30

会場：野間清六郎（NO-MA向かい側）

定員：30名（要予約）

参加費：無料

### 飛ぶ

#### 講演「鳥瞰図の宇宙—大正の絵師、吉田初三郎を手がかりに」

空を飛ぶ鳥が見下すような視点で描いた絵「鳥瞰図」。その第一人者であり、本展で展示する大正の絵師、吉田初三郎の作品を手がかりに、鳥瞰図に潜むこだわりの謎を分かりやすく解きほぐしていく。

講師：井上善博（博物館調査研究員/前名古屋市博物館学芸員）

日時：2015年7月11日（土）13：30～15：00

会場：野間清六郎（NO-MA向かい側）

定員：30名（要予約）

参加費：無料

## (2) オープニングイベント及び、ギャラリートークの実施

### ① 「夕暮れNO-MA de オープニングイベント」

日時：4月29日(水・祝) 17:00~18:30

会場：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

定員：20名(要予約) 参加費：観覧料

※当日は19:30まで延長開館します。

### ②アートディレクター、学芸員によるギャラリートーク

A) 5月9日(土) 13:30~14:30 講師：はたよしこ(本展アートディレクター)

B) 6月27日(土) 13:30~14:30 講師：横井悠(当館学芸員)

C) 7月25日(土) 13:30~14:30 講師：藁戸さゆみ(当館学芸員)

会場：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

定員：20名(要予約)

参加費：観覧料

### >> イベントのご予約・お問い合わせ

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

滋賀県近江八幡市永原町上16 TEL/FAX: 0748-36-5018 URL: <http://www.no-ma.jp/>

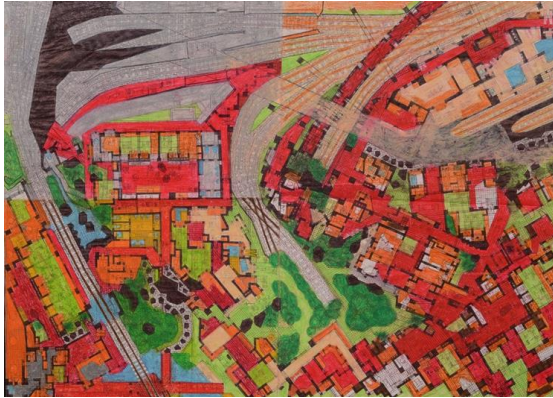


## 広報用画像

掲載ご希望の方はお手数ですが別紙にご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡ください。

この資料の画像・テキスト等の著作権は、当ミュージアムや個人、協力団体に帰属します。

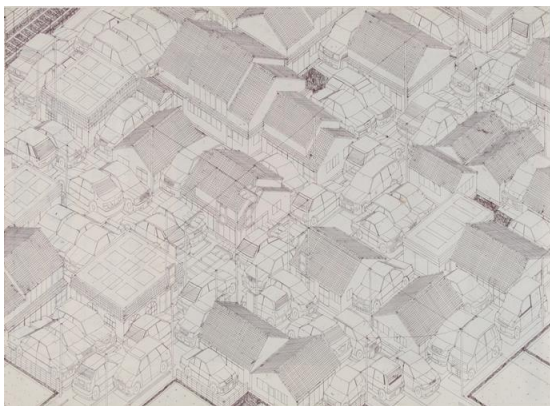
資料の情報を事前に許可なく、複製等の行為をすることはかたくお断りします。



① 香川定之《無題》  
2014年 790×1090mm  
紙、ボールペン、クレヨン photo 大西暢夫



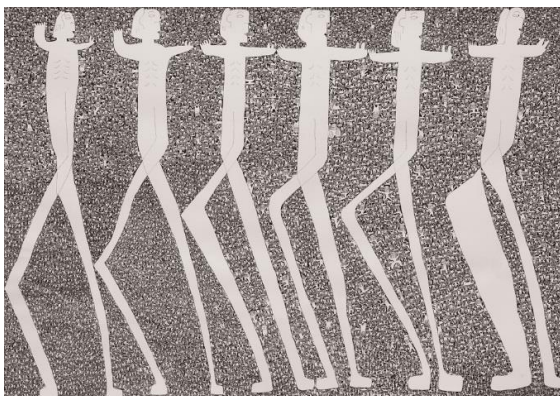
②白石裕則《素直に大メイロ》  
2015年 900×1800mm  
ベニヤ、絵の具 photo 大西暢夫



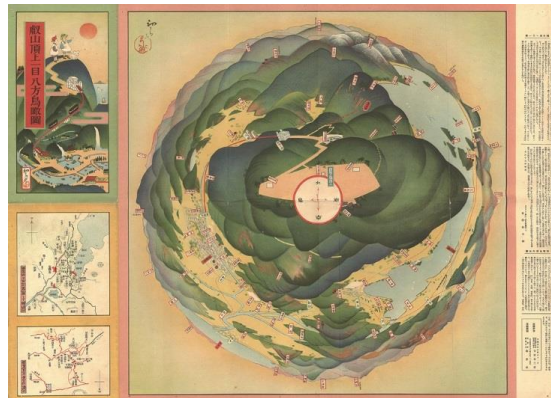
③戸舎清志《街と車のある風景》  
1982年頃～2015年 381×521mm  
紙、鉛筆、ボールペン、絵の具 photo 高石巧



④山口晃《百貨店圖 日本橋三越》  
2011 635×880mm  
Inkjet Print ©YAMAGUCHI Akira, Courtesy Mizuma Art Gallery



⑤山田美智子《6人の巨人と仲間》  
2014年 767×1087mm  
画用紙、マーカー



⑥吉田初三郎《叡山頂上一目八方鳥瞰図》  
1926年 520×380mm  
パンフレット

### 【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部(ボーダレス・アートミュージアムNO-MIA)

担当: 山田・渡邊・横井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 MAIL: kikaku@glow.or.jp

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA 企画展

# 鳥の目から世界を見る

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部  
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛  
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として6点をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

①キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記ください。

②作品のトリミング、文字載せはお控えください。

本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌(紙)、DVD、CD等をお送り下さい。

媒体名 : 『 \_\_\_\_\_ 』

種別 : TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー  
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日 :

御社名 :

ご担当者名 :

Eメールアドレス :

@

(〒 \_\_\_\_\_ )

ご住所 :

お電話番号 :

FAX :

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

- ① 香川定之《無題》  
2014年 790×1090mm 紙、ボールペン、クレヨン photo 大西暢夫
- ② 白石裕則《素直に大メイロ》  
2015年 900×1800mm photo 大西暢夫
- ③ 戸舎清志《街と車のある風景》  
1990年 紙、鉛筆 210×295mm photo 高石巧
- ④ 山口晃《百貨店圖 日本橋三越》  
2011年 635×880mm Inkjet Print  
©YAMAGUCHI Akira, Courtesy Mizuma Art Gallery
- ⑤ 山田美智子《6人の巨人と仲間》  
2014年 767×1087mm 画用紙、マーカー
- ⑥ 吉田初三郎《叡山頂上一目八方鳥瞰図》  
1926年 520×380mm パンフレット photo 大西暢夫

プレゼント用ご招待券をご希望の場合は✓をおつけいただき、枚数をご記入ください(10枚まで) (□ 枚)

**【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】**

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当: 山田・渡邊・横井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : kikaku@glow.or.jp